

政府・与党の協議は党利党略

## 75歳以上の2割負担は撤回を

75歳以上の医療費窓口負担（現在原則1割）に2割負担を導入する方針をめぐり、政府・与党内の調整が難航していると報じられています。これをどう見るか。中央社会保障推進協議会の山口一秀事務局長に聞きました。（藤原直）



中央社保協事務局長 山口一秀さんに聞く  
禍にも苦しむ高齢者に負担増を押し付けようとしていることでは何もかわ  
政府・自民党と公明党的「年収70万円以上の約520万円以上」「年収240万円以上」の約200万人」にしよう  
配慮しようとしているのか  
ようにも聞こえます。しか  
し、負担増の対象範囲を政  
75歳以上の医療費窓口負担（現在原則1割）に2割負担を導入する方針をめぐり、政府・与党内の調整が難航していると報じられています。これをどう見るか。中央社会保障推進協議会の山口一秀事務局長に聞きました。（藤原直）

菅義偉首相は、「高齢者の中でも幅広く負担がある人を増やして若い世代の負担を少しでも減らしていく」と語っています。高齢者の厳しい生活の実態からかけ離れた言い分であり、これまでの社会保障抑制・削減策の転換こそが政治に求められています。

政府・与党は法案化を目指し、あくまでも負担増を押しつけようとしてくるであります。政府・与党が、財政が困難だといいながら、大企業や富裕層を優遇する不公平税制には手をつけずに、高齢者の医療費をはじめとし

べ、10円以降にするという話も出ていますが、その年の夏の参院選を終えてからにするという党利党略でしかありません。

### 2割負担の制度設計を具

体化する全世代型社会保障の中でも幅広く負担である報告が遅れたりしているのは、国民との矛盾が噴き出しているものであり、国民の切実な実態や「負担増はやめよ」という私たちの運動が反映してきたものでもあると思ってします。

政府・与党は法案化を目指し、あくまでも負担増を押しつけようとしてくるであります。政府・与党が、財政が困難だといいながら、大企業や富裕層を優遇する不公平税制には手をつけずに、高齢者の医療費をはじめとし